



スピーカー: 太平洋核被災支援センター / 日本・高知県

太平洋核被災支援センターは、1985年に結成された高知県ビキニ水爆実験被災調査団から発展し、2012年にビキニ核実験被災船員の健康状態追跡調査と救済を求めて結成されました。2014年に国の公文書を開示させ「ビキニ事件はまだ終わっていない」ことを告発し、被災証言の記録に取り組んでいます。

---

ビキニ事件は終わっていない  
制作 太平洋核被災支援センター

ナガサキ・ヒロシマから40周年(1985)  
高知のある漁村で

ある青年の自死。母が語るその理由とは

ひかりは来ましたか  
光はピカッときましたよ、ひかりは  
じゃ、節弥さんは  
むろん、節弥は長崎で光をみています。

節弥さんは故郷の宿毛(高知県宿毛市)に帰ると家計を助けるため遠洋マグロ船に乗りました  
母親思いの節弥さんは船が港に着くたびに手紙を出していました

この航海切り上げ次第一刻も早く家に帰ってお母さんに安心させてやりたい

節弥さんが自死された原因はそれはどう思いますか。  
さ、私には分かりませんね。やっぱり病気を苦しにしたじゃないでしょうか  
それ以外に考えることはありません  
病気というのは?  
長崎・ビキニと2回やってますからね。うんと苦しにしたのじゃないでしょうか。

航海図には水爆実験に神経を尖らせながらマグロを追っていた節弥さんの姿が刻まれていました  
長崎に引き続き再び核の犠牲者となった節弥さんは27歳の若さで自ら命を絶ったのです

高校生たちは調査を進める。漁船員たちは核実験を目撃していた

おっちゃんはこの辺りで送迎しようけんね。きのこ雲が出て、ぶわあーと水平線から水平線までいったんです。ほんとピカアーンときた。目とられた、ピカアーンと。

ビキニ事件と言えば第五福竜丸が1954年3月1日にビキニ海域でアメリカの水爆実験によって死の灰を浴び、久保山愛吉さんが亡くなった事件として知られています

全国高校生平和集会

私たち高知県高校生ゼミナールは足元から平和と青春を見つめよう、をモットーに  
地域に根ざした平和学習をしてきました

皆さんもこの問題の調査、学習を是非 学習にぜひ取り組んで下さい



ビキニ事件とはどんな出来事だったのか？  
マーシャル諸島にあるサンゴ礁  
太平洋ビキニ環礁

1954年3月1日  
アメリカは水素爆弾の実験を行いました  
威力は広島に投下された原爆の1000倍でした  
このとき160KM離れた海で日本の遠洋マグロ漁船、第五福竜丸が操業していました  
23人の漁船員全員が被爆

半年後、無線長の久保山愛吉さんが亡くなります  
水爆実験は2ヶ月半で6回  
この間、周辺の海域では多くの漁船員達がマグロを追っていました  
被爆を疑う声が上がりましたが国が認めることはありませんでした

実験の翌年（日米交換公文）アメリカから200万ドルの見舞金を受け取ることでこの問題を終わらせたのです

結婚して子どもができる時は心配だった  
仲間の船員はがんで1人、2人と死んでいった  
同じ船に乗っていた兄は皮膚ガンになり親指を切断　そして肺に転移して死んだ

夜も寝ず、命がけで捕まった魚を捨てさせられた  
魚に放射能があることは、はっきり聞いた  
人体も調べたが、何も言ってくれなかった

40才を過ぎてから貧血に悩まされ  
肝臓・胃がんの手術を同時にした  
病気がビキニ事件と関係ないと言われると、情けなく腹が立つ

#### 遺族たちの証言

父に食道がんで血を吐いて死んだ  
父からの話は一度だけ、「俺らも第五福竜丸と同じところで操業していた」と言っている  
父は死の直前、「なんで俺が脳腫瘍にならんといかんのや」とつぶやいた  
60歳になってすぐの頃に胃ガンで手術をしています  
父は精神的なダメージが大きかった  
父はずっと「自分はガンになる」と心配していたらしい  
母が自死は想定外だった

父の苦しみは、家族の関係まで壊していった  
たとえ子どもであっても、父には苦しみを話して欲しかった

出てきたのは水爆実験の年、厚生省が独自にまとめた放射線の検査報告書です  
厚生省は確かに漁船員の体の被爆を調べ記録を残していたのです  
第二幸成丸の桑野さんが想いをぶつけます

私以上の何百ミリシーベルトという核の放射能をかぶっている  
だからこそ　厚生省の力で公表してもらいたい



ビキニ被爆国家賠償訴訟 高知地裁判決2018.7.20

結局日本政府から見放された状態に今なっていますよね  
「ビキニ被災者の救済を検討すべき」と判決にあるが、それをどう評価するか？  
国や県は、元船員たちの被ばく後の調査をして、手立てをするべきだ  
ビキニ事件は「核兵器禁止条約」核被災者救済に対して、世界的に大きな意味を持っている

被ばく者の声に思いをはせ核無き世界へ 踏み出そう！

自分も白血病とかで亡くなるんじゃないかな、という怖さはありませんか？  
それは怖いよ。一緒に乗った人、何人も白血病になっている。  
原子力の戦争は絶対したらいかん

1954年のビキニ水爆実験では、その付近で操業していたマグロ漁船員1万人以上が被ばくした  
船員、遺族たちの苦しみは今も続いている

おことわり

この文章の責任は証言動画の文字起こしを行ったピースポートにあります。オリジナルの証言と完全に一致するとは限りません。オリジナルの証言は2021年12月3日（日本時間）に行われた世界核被害者フォーラム2021にてオンラインで上映されました。このフォーラムはピースポート主催、核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）協力で開催され、世界5大陸から30名を超える参加者がそれぞれの核の被害を1000人を超える視聴者に訴えました。証言やパネルディスカッションの様子はYouTubeチャンネルまたはこちらのウェブサイトより閲覧可能です。<https://nuclearsurvivors.org>